

令和7年度 学校関係者評価 報告書

令和7年11月

いわき市医療センター看護専門学校

【目次】

1 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
- (2) 学校関係者評価委員
- (3) 学校関係者評価委員会の開催
- (4) 学校関係者評価方法

2 学校関係者評価の評価結果と内容

- (1) カテゴリーⅠ 学校経営
- (2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動
- (3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策
- (4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援
- (5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政
- (6) カテゴリーⅥ 施設設備
- (7) カテゴリーⅦ 教職員の育成
- (8) カテゴリーⅧ 広報
- (9) カテゴリーⅨ 地域との連携

1 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 学校関係者評価の目的

- ① 実習指導者、同窓会等卒業生、看護師養成所教員経験者、母体病院職員等の学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営や教育活動等の課題を明確にし継続的な改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「いわき市医療センター看護専門学校学校関係者評価委員会運営要綱」に則り実施する。

(2) 学校関係者評価委員

- ① 任期 令和7年7月25日から令和8年3月31日
- ② 委員名簿

氏名	区 分
渡邊 三江	学生指導協議会の委員
酒井 敬子	専門学校同窓会の会員
相馬 梨恵	専門学校の卒業生
高木 文子	大学又は看護師養成所において教員としての勤務経験を有するもの
鈴木 隆宏	いわき市医療センター事務局の職員

(3) 学校関係者評価委員会の開催

- 第1回委員会 日時： 令和7年7月25日 13:30～15:30
場所： 本校2階会議室
内容： 委嘱状交付
学校関係者評価委員会の概要説明
令和6年度自己評価結果の説明
授業見学、施設案内
第2回委員会の概要説明
委員長、副委員長の選出
- 第2回委員会 日時： 令和7年10月1日 13:30～14:30
場所： 本校2階会議室
内容： 自己評価結果の評価結果
意見交換、提案等
まとめ

(4) 学校関係者評価方法

- ① 自己評価結果について、「適正」か「不適正」の評価をする。
- ② 評価事項、評価内容、その他学校運営等について改善の意見提案を行う。

2 学校関係者評価の評価結果と内容

※ **評価結果** の用語について

「自己評価の平均」とは

⇒ 看護専門学校で職員が、カテゴリー別の評価事項について5段階で自己評価したものの平均の数値

- 5： できている
- 4： ややできている
- 3： 普通
- 2： ややできていない
- 1： できていない

「学校関係者評価の結果」とは

⇒ 看護専門学校の教職員による自己評価の結果が、「適正」なのか「不適正」なのかを学校関係者評価委員（5人）が評価した結果

(1) カテゴリーⅠ 学校経営

評価結果

自己評価の平均

4.62

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 条例、学則等を遵守し、適正に学校運営が行われている。また、学校の事務や意思決定等についても、市病院事業の諸規定に基づき、適正に実施されている。
- ・ 各種会議が定期的開催され、回覧等により内容が共有されているほか、評価関係については、その結果を次年度目標・事業計画に反映させるなど、適切に処理されている。

改善の意見提案

- ・ 中期目標が明確に示されるとよいと思う。

現状や改善の方策等

- ・ 年度末に全教員でSWOT分析を行い、次年度の目標を作成しているが、今後、ミッション等の達成に向け、中期目標の文章化も検討していきたい。

(2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動

評価結果

自己評価の平均

4.63

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 実習施設が増え、多様な施設で経験を積むことで学生の視野が広がっている。
- ・ 授業計画書は、学校の教育理念や教育目標を実現できるよう作成されているほか、スケジュールについても、各科目の担当教員が作成する原案をもとに、前年度から協議・調整が行われており、質の高い教育の実現に向け常に努力している姿勢が見て取れる。

改善の意見提案

- ・ AIを適切に活用するにはどうしたらよいか、学生と教員が一緒になって考えていけたらよい。
- ・ 新教育課程で学んだ初めての学生の卒業時アンケートで、「教育課程・教育活動」の全項目が昨年度より低い点数だった。理由として学生には新しい取り組みが多く、先輩等のアドバイスを学校生活に活かすことが困難であったとしている。
年数経過と共に経験値が高まると思うことから、学びがよりよいものとなるよう努めてもらいたい。

現状や改善の方策等

- ・ 看護師養成所におけるDXは学習効果の最大化、業務効率化、教育活動の高度化などの取り組みが求められている。学生が当たり前のようにAIに触れる時代になったことから、教員も時代に合わせて価値観をアップデートしていく必要がある。
学生も教員もAIの利便性と危険性を正しく理解し、適切に活用できるよう検討していきたい。
- ・ 令和4年度のカリキュラム改正以降、課題の検討、授業内容の修正等を行い、よりよい教育活動となるよう努めており、自ら考えることができる学生の育成を目指しているところである。一方で、実際の運用から見えてくる課題もあることから、今後も適切にカリキュラム評価を行い、より質の高い教育を目指して努力していきたい。

(3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策

評価結果

自己評価の平均

4.70

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 多くの看護学校が定員割れの状況にあるなか、倍率があり、選抜して学生を受け入れられていることが、学生の質の確保につながっていると考ええる。
- ・ 国家試験合格率100%は学生、教職員が一丸となって目標に向かい努力した成果だと思う。過去の不合格者も合格しており、卒業後のフォローも行われている。
- ・ 市内就職率94.8%は、地域に貢献できる人材を育成するという教育目標のもとで教育を受けたことが、進路決定に影響を及ぼしたと思う。
- ・ 学生募集にあたり、より多くの応募者を確保するため、進路相談会への参加や学校見学会を開催しているが、これらは学校を知るきっかけの一つなので、今後も継続した取り組みをお願いしたい。
- ・ 学校ホームページを新しくしたり、広報紙の配布など、積極的に広報活動を行っている。
- ・ 一年生のうちから国家試験に向けての意識付けが行われている。

改善の意見提案

- ・ 入学希望者が見るのは学校のホームページであるため、学生募集要項等、市ホームページに掲載している内容について、市ホームページにリンクさせるだけでなく、学校ホームページに掲載したほうがよいのではないか。

現状や改善の方策等

- ・ 募集要項等、市ホームページに掲載している内容については、市ホームページにリンクさせるのみでなく、学校ホームページにも掲載するよう対応する。

(4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援

評価結果

自己評価の平均

4.76

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 健康管理、学生生活の支援など、十分な支援体制を整えている。
- ・ ボランティア活動に加え、機能別消防団に参加するなど市民として活動できている。
ボランティア活動は社会貢献のほか、交流を通して自発性や自己成長を促すため、医療現場で役立つ内面的スキルが醸成される。
- ・ 学生全員を対象に個人面談を実施するほか、成績不振者等には随時面談を行い、スクールカウンセラーを導入するなど、学校生活を円滑に送ることができるよう、学生に寄り添う姿勢が見て取れる。

- ・ 教員だけでなく、スクールカウンセラーを導入することで、学生の心身面の健康管理ができています。
- ・ 学業だけでなく、生活面でのフォロー体制も整っている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政

評価結果

自己評価の平均

4.78

学校関係者評価の結果

適正 5 人：不適正 0 人

評価できる点

- ・ 教職員が意見を述べ、優先順位を決めて事業計画をすすめている。
- ・ 危機管理体制について、十分な備えが出来ていると推察する。全国的に自然災害が多発し甚大化していることから、他の訓練内容も参考にしながら、引き続き取り組んでほしい。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(6) カテゴリーⅥ 施設設備

評価結果

自己評価の平均

4.49

学校関係者評価の結果

適正 5 人：不適正 0 人

評価できる点

- ・ 施設整備の不具合箇所など優先順位を付け、緊急性の高いものから順次更新を行うなど、施設管理は適切に行われている。
- ・ 必要箇所の修繕や改修により学校生活に支障がないよう管理されている。
- ・ 施設は計画的に修繕されている。

改善の意見提案

- ・ 長寿命化計画等に基づき修繕を行っていると思うが、物価高騰などの影響で計画どおりに修繕できないことも想定されるため、運営に支障がない範囲で優先順位を再整理するなど、適正な整備に努めてほしい。
- ・ 教室内のみではなく、廊下やトイレなどにも空調設備を設けるなど、校内の環境整備が必要であると思う。

現状や改善の方策等

- ・ 施設全体の維持管理については、医療センター担当課の協力の下、計画的かつ効率的な修繕を行っているところである。
今後も同課と協力し、学校の現状に合った適切な整備を行いたいと考える。
- ・ 当校は全館空調システムを導入していないため、廊下やトイレに空調を入れることは困難であるが、できる範囲で環境整備を行いたいと考える。

(7) カテゴリーⅦ 教職員の育成

評価結果

自己評価の平均

4.64

学校関係者評価の結果

適正 5 人：不適正 0 人

評価できる点

- ・ 各教員が自己研鑽に努めており、教育の質向上につながっていると思う。
- ・ 教員の自己研鑽に係る研修費用が確保されているほか、専任教員キャリア別ラダーシステムを通しキャリア開発に努めるなど、必要な研修を主体的に計画できる体制となっている。
- ・ 教員が他の教員の授業を自由に参観し、意見交換を行える場が設けられており、職場内においても、常に教職員の育成を意識した仕組み（制度）が確立されている。

改善の意見提案

- ・ 個人目標と関連してポートフォリオのようなものを作成できれば、成長の足跡を可視化できるのではないかな。

現状や改善の方策等

- ・ 今年度より年2回の業績評価となり、面接回数も5回に増加した。その都度、目標に対する到達度や課題の確認を行い、教員がキャリアアップできるように支援している。

(8) カテゴリーⅧ 広報

評価結果

自己評価の平均

4.97

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ Facebook、インスタグラム、広報あぜりあ等、様々な多様なターゲットに対する広報活動ができています。
- ・ リニューアルされた学校ホームページはとても見やすく、見たい情報が見れる構成だと思う。
- ・ 様々な媒体を使用することで、いろいろな人に学校を知ってもらうことが出来ている。ボランティア活動や地域の行事に学生が参加することも広報につながっていると思う。

改善の意見提案

- ・ より多くの方に学校ホームページを閲覧してもらうため、広報紙やお知らせコーナーなどの項目を追加しては如何かな。

現状や改善の方策等

- ・ 学校ホームページで広報紙のバックナンバーが閲覧できるのは良いアイデアだと思うので、掲載について検討したいと考える。また、お知らせについては、随時、情報を発信していきたい。

(9) カテゴリーⅨ 地域との連携

評価結果

自己評価の平均

4.94

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 授業やボランティア活動を通して学生が地域に入り込んでいるところが素晴らしい。
- ・ 市民総ぐるみ運動や出前講座の実施、機能別消防団の活動への参加など、地域社会への貢献は十分と考える。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)